

勉強会 <テーマ③原地区>

ステップ2 検討資料

地域づくりの目標に関する整理

～鉄道高架や関連事業について考える上で踏まえるべき地域の課題や将来像～

1. 原地区 (テーマ③地区レベル)

…1

(1) 地域を取り巻く状況について

(2) 地域づくりの目標に関する整理

1. 静かで自然豊かな暮らしを (暮らし)

- 1-1 のんびりと暮らせる静かな住環境を
- 1-2 地域への愛着と誇りを大切にしたい
- 1-3 誰もが安心して暮らせる街に
- 1-4 将来を見据え計画的に

2. 人が集まる魅力ある地域に (交流)

- 2-1 豊かな地域資源を活かして
- 2-2 広域から人を呼び込む
- 2-3 賑わいを生む仕掛けを

3. 地域に活力を (産業・雇用)

- 3-1 商業に活力を
- 3-2 産業が集積し雇用を生み出す
- 3-3 「農」に関わる地域の文脈を活かして

4. 広域も南北も移動しやすく (交通)

- 4-1 広域からのアクセスのよい地域に
- 4-2 地域内を安全で快適に移動したい
- 4-3 公共交通が便利に使える

5. 水害にも津波にも強い地域に (防災)

- 5-1 災害リスクに備えたい
- 5-2 いざ災害が起きたら避難できる
- 5-3 安心・安全で選ばれる地域に

2. 広域レベル (テーマ①)

… 8

(1) 地域を取り巻く状況について

(2) 地域づくりの目標に関する整理

1. 広域的な中心に (拠点)

- 1-1 広域的な拠点地域に
- 1-2 地域でうまく連携して

2. 交流拠点として賑わう (交流)

- 2-1 交通の要衝として
- 2-2 モノの交流拠点として
- 2-3 災害時の代替機能や復旧・復興の拠点として

3. 何もせずに過ごすのは問題 (戦略)

- 3-1 早く結論を
- 3-2 すぐに効果が現れる対策を
- 3-3 長期的視点から抜本的な対策を
- 3-4 効果的で戦略的な投資を
- 3-5 市民と民間と行政が協力して

4. 税金は効果的に使ってほしい (財政と事業効果)

- 4-1 沼津市財政に無理がないように
- 4-2 大きな費用に見合った対策を

3. 進め方に関する課題の整理

… 14

1. PIの目的を明確に (PIの目的)

2. 解決に向けて (対話の効果)

3. 公正で着実な議論を (検討プロセス)

4. 幅広く意見を聴いて (検討体制)

原地区 (テーマ③地区レベル)

地域を取り巻く状況について

- (社会基盤整備) 原地区周辺では、新東名サービスエリアが開設し、今後は東駿河湾環状道路の沼津岡宮 IC 以西区間整備やスマートインター設置などが計画されている。
- (地域資源) 原地区には、温暖な気候、歴史文化的資源、景観資源などの地域資源が多くあり、これらをどのように地域づくりに活かしていくのかが課題である。
- (雇用・産業) 農業の後継者不足や商業の衰退、雇用不足など、産業振興も課題となっている。
- (医療・福祉・健康関連産業) また、県東部地域での『ファルマバレープロジェクト』の推進を背景に、医療・福祉・健康など、新たな産業振興が期待される。
- (災害リスク対策) 原地区は、これまで水害に悩まされた地域であり、引き続き放水路の整備が必要とされる。また、東日本大震災以降のリスク評価に基づき、これまでの予測以上の災害・津波リスクが懸念されるが、原地区においても新たな災害リスクがあれば対応が必要である。

原地区はどのような
地域であって欲しい
でしょうか？

原勉 1
資料 4-2
(議論のための材料)

地域づくりの目標に関する整理（原地区）

1. 静かで自然豊かな暮らしを（暮らし）

1-1 のんびりと暮らせる静かな住環境を

- ・ 静かで自然豊かな住環境の中で、のんびりと暮らせる
- ・ 乱開発から地域の大切な景観や生態系が守られる
- ・ 地域のコミュニティの良さが引き継がれる
- ・ 自然環境を守ることが、観光資源を活かすことにもつながる

■ 静かで自然豊かな環境を残し、富士山の景観や納園としての歴史ある水田や耕作地を守りたい。	3010202
■ いまのままの原地区の静かで穏やかな環境や景観、豊かな自然環境を残したいので、貨物駅は整備して欲しくない。	3070201
■ のんびりした風土で暮らしやすい環境を維持してほしい。	3040101
■ 現在の豊かな自然環境を保全してほしい。	3040401
■ 開発によって農地が無くなったり、荒らされてしまうことが残念だ。	3030502
■ 大気を浄化する作用のある千本松原を保全してほしい。	3030101
■ 貨物駅設置によって住環境等の環境への悪影響がでることが心配だ。	3070203
■ 貨物駅の移転によって騒音や振動の問題が起こるのではないか。	3030201
■ 貨物駅による音や排ガスの影響はあまりないのではないか。	3070204
■ 農業が成り立ちにくくなる状況を踏まえると、農地を集約させながら保全する必要があるのではないか。	3030503
■ 開発によって農地が無くなったり、荒らされてしまうことが残念だ。	3030502
■ 原地区は沼津市と合併したメリットを感じられるようにしてほしい。	3010204
■ かつては貴重な野鳥も多く生息しており、近年また野鳥が増えてきていると聞くので、野鳥の保護にも配慮してほしい。	3040403
■ 昔ながらのコミュニティの良さを大切に、安心して静かに暮らせるまちにしたい。	3010206
■ 昔ながらのコミュニティが残っているのは原の独自性だと思う。	3040203
■ 観光資源としての活用を考えた上でも、自然環境の保全は重要だと思う。	3040402

1-2 地域への愛着と誇りを大切にしたい

- ・ 古くからの由緒ある歴史的資源や、富士山や松原の素晴らしい景観に恵まれたこの地域に、愛着と誇りを持って生活できる

■ 大正天皇の納園としての歴史ある農地に誇りを持っている。	3050101
■ 原地区から見える富士山や松原の景観が素晴らしい。	3040301
■ 地域の宝である寺や街並み、景観を守るだけでなく、積極的に活用することで地域振興に結び付けたい。	3040302

原地区はどのような
地域であって欲しい
でしょうか？

原勉 1
資料 4-2

(議論のための材料)

1-3 誰もが安心して暮らせる街に

- ・ 地域の中で高齢者だけでなく若者や子どもも住まうとともに、健康や医療が充実し、どの世代も安心して暮らせる

■高齢者や子供が暮らしやすいまちにしてほしい。	1010105
■多様な年代が暮らしやすいまちにほしい。	1010106
■少子高齢社会対策として、子育てしやすいまちづくりを進めてほしい。	1020502

1-4 将来を見据え計画的に

- ・ 浮島地区も含めた広がりのあるグランドデザインのもとで、地域のことを考えたい
- ・ 計画的にコンパクトな市街地が形成されることで、これ以上無秩序な開発が広がることなく、街路や下水などの新たなコストが抑えられる

■乱開発を防止し、既存資源を十分活用していくためにも、将来を見据えた原地区のグランドデザインを示してほしい。	3010201
■開発の余地がある地域であり、地域の人が夢を持てる開発を進めてほしい。	3010205
■南北をつなぐ道を整備し、農地を転用することで、原地区の北側の土地を有効利用してほしい。	3010501
■市街地を無節操に拡大しないで、人が住む場所を集約したコンパクトな地域にほしい。	3010301

2. 人が集まる魅力ある地域に (交流)

2-1 豊かな地域資源を活かして

- ・ 納園や寺や庭などの固有の歴史・文化資源、豊かな自然環境、富士山や松原の景観などの魅力を知ってもらい、多くの人に訪れてもらえる
- ・ 富士山に因んだ施設（例えば富士山世界遺産センター）を誘致するなど、富士山を臨む土地の特質を活かして、多くの人に訪れてもらえる

■納園と呼ばれた農業地区としての歴史を活かしたい。	3040201
■地区にある多くの寺や庭園は貴重な地域資源であり、活用できるものだと思う。	3040202
■原地区から見える富士山や松原の景観がすばらしい。	3040301
■観光施設整備、周辺地域との連携やPR戦略などにより、新たな魅力づくりを図れると良い。	3050302
■地域には観光資源となる場所が多くあり、それらを活かした観光によるまちづくりを進めたい。	3050304
■観光資源としての活用を考えた上でも、自然環境の保全是重要だと思う。	3040402
■富士山の元祖と言える愛鷹山を望むこの地域に富士山世界遺産センターを誘致できると良い。	3010404
■地域の宝である寺や街並み、景観を守るだけでなく、積極的に活用することで地域振興に結び付けたい。	3040302

原地区はどのような
地域であって欲しい
でしょうか？

原勉 1
資料 4-2
(議論のための材料)

2-2 広域から人を呼び込む

- ・交通アクセスを活かして、広域から多くの人に来てもらえる

■新東名サービスエリアの活用やスマートインターの設置、東駿河湾環状道路の延伸などにより、交通の要衝として人が流れてくる整備をしてはどうか。	3020101
■新東名の効果を活かしたまちづくりをする必要がある。	3050401
■原駅と新東名のスマートインターチェンジを結び、まちの玄関口にふさわしいアクセス性を持たせたい。	3020103
■地区内の観光地を回遊できる様に、地区内の観光資源へのアクセス性を向上させてほしい。	3050301
■県外からも若者などが多くの人が集まる活気のあるまちにしたい。	3010207

2-3 賑わいを生む仕掛けを

- ・健康や文化に関わる施設（健康文化タウンなど）や、文化施設や教育施設などの人が集まる施設を中心に賑わう
- ・地域の農産物など特産品を目当てに多くの人が集まる

■健康文化タウン等の整備により、地区の活性化を図ってはどうか。	3010203
■病院などの誘致によって医療、健康のまちとして活性化できないか。	3010403
■高校、展示会やコンサートが開催できる施設など、教育、文化施設が整備できると良い。	3010401
■貨物駅を他地区へ移転し、貨物駅として買収済みの土地は福祉施設やリサイクル施設など、他の利用方法を考えれば良い。	3070103
■貨物駅の整備をきっかけに、道路整備や施設誘致などが行われ地域の活性化に結び付けば良い。	3070102
■原地区が「健康文化タウン」として、静岡県東部だけでなく広域の健康と福祉に貢献できる様なまちになると良い。	3010101
■地域の特産品を販売できる道の駅の整備による観光の活性化に期待している。	3050303

原地区はどのような
地域であって欲しい
でしょうか？

原勉 1
資料 4-2
(議論のための材料)

3. 地域に活力を (産業・雇用)

3-1 商業に活力を

- ・ 原駅の周辺に商店が集まり、地域の商業が活性化する

■ 地元の商業が衰退している。	3050201
■ 高齢者の利便性の確保や賑わい形成のために、郊外だけでなく駅周辺に小売店舗が必要だと思う。	3050202

3-2 産業が集積し雇用を生み出す

- ・ 医療や健康に関わる産業が集まり、活力や雇用が生まれる
- ・ 自然や景観資源、農のある暮らしと共存できるような産業が集まる

■ 環境を守るだけでなく、原地区にも産業や社会基盤施設の整備が必要だ。	3010402
■ 病院や高齢者のための施設などの誘致によって医療、健康のまちとして活性化できないか。	3010403
■ 工場や店舗、医療介護系の施設などの誘致によって雇用が創出され、定住人口が増えることを期待している。	3050403
■ 地域の活性化や雇用創出につながる道の駅ができると良い。	3050104
■ 自然や農地を残し、商工業や農業がバランスよく共存するまちを目指したい。	3050103
■ 幹線道路沿いに新しい技術を使った農業ベースの工業などを誘致することで地域を発展させ、雇用の確保にもつなげたい。	3050402

3-3 「農」に関わる地域の文脈を活かして

- ・ 耕作放棄地や不法投棄の問題が解消される
- ・ 納園など「農」に関わる地域の歴史的な文脈を大切にしたい
- ・ 農業や農地を介した地域間・世代間の交流が盛んになる

■ 耕作放棄地の対策を考えてほしい。	3030001
■ 開発によって農地が無くなったり、荒らされてしまうことが残念だ。	3030502
■ 農業が成り立ちにくくなる状況を踏まえると、農地を集約させながら保全する必要があるのではないか。	3030503
■ 後継者がいないなどの理由で農業が続けられなく人が増えることへの対策として、農地を集約し、体験農場や市民農園といった形で存続させることを考えてはどうか。	3050102

原地区はどのような
地域であって欲しい
でしょうか？

4. 広域も南北も移動しやすく (交通)

4-1 広域からのアクセスのよい地域に

- ・新東名サービスエリアやスマートインターチェンジ、東駿河湾環状道路とのアクセスがよくなる

■新東名サービスエリアの活用やスマートインターの設置、東駿河湾環状道路の延伸などにより、交通の要衝として人が流れてくる整備をしてはどうか。	3020101
■貨物駅ができて交通の結節点となれば、原のポテンシャルが上がるのではないか。	3020102
■原駅と新東名のスマートインターチェンジを結び、まちの玄関口にふさわしいアクセス性を持たせたい。	3020103

4-2 地域内を安全で快適に移動したい

- ・南北方向など必要な道路が整備され、自動車も歩行者も、地区内を安全で便利に移動できる
- ・踏切での遮断が心配
- ・原駅では線路を挟んで歩行者が楽に移動できる

■新東名サービスエリアの活用やスマートインターの設置、東駿河湾環状道路の延伸などにより、交通の要衝として人が流れてくる整備をしてはどうか。	3020101
■南北の行き来を円滑するための道路が必要ではないか。	3020301
■貨物駅の整備をきっかけに、道路整備や施設誘致などが行われ地域の活性化に結び付けば良い。	3070102
■社会資本整備として、道路整備は必要ではないか。	3020201
■原地区の道路は道幅狭いため、通れなかつたり運転するのが怖い箇所があるので、住民のための道路整備を進めてほしい。	3020202
■住民にとっても来訪者にとってもわかりやすい道路ネットワークを充実させたい。	3020203
■渋滞解消や安全性の確保のために、根方バイパス早くを整備してほしい。	3020204
■道幅が狭い道路は、通学の際などに歩行者にとって危険なので整備してほしい。	3020402
■貨物駅移転によって踏切の待ち時間が長くなるのではないかと心配だ。	3020403
■貨物駅移転によって、踏切による南北交通への支障が出たり、コンテナが津波で流される等、生活の利便性や安全性が脅かされることが心配だ。	3070202
■原駅の橋上駅化、南北通路や南口の整備などにより、歩行者が駅の南北を容易に移動できる様にしてほしい。	3020401

4-3 公共交通が便利に使える

- ・車がなくても便利に地域を移動できる公共交通網がある

■浮島地区には最寄駅といえるものが無く、バスなどの公共交通も整備されていないため、自動車が利用できないと移動が大変不便だ。	3020501
---	---------

原地区はどのような
地域であって欲しい
でしょうか？

原勉 1
資料 4-2
(議論のための材料)

5. 水害にも津波にも強い地域に (防災)

5-1 災害リスクに備えたい

- ・治水対策が施され、水害の心配なく安心して暮らせる
- ・地震や津波、液状化への対策がなされ、安心できる

■原地区ではまず治水対策を早急に行ってほしい。	3060201
■地区にとって深刻な問題である水害対策のために、放水路の整備を早く進めて欲しい。	3060202
■津波に対する対策を充実してほしい。	3060101
■この地区は地盤が良くないので地震の際に液状化するのではないかと心配だ。	3060102
■貨物駅が移転してくると、避難可能な駅舎や高台公園等の整備ができないのではないかと不安である。	3060302

5-2 いざ災害が起きたら避難できる

- ・津波など大規模災害時の避難路や避難場所が確保されて安心できる

■避難路や避難場所の整備が必要である。	3060301
---------------------	---------

5-3 安心・安全で選ばれる地域に

- ・減災対策や避難対策がなされ、安心して暮らし、また、働き続けられる
- ・観光や仕事でも安心して訪れることができ、移住したい地域としても認識される

■災害対策がしっかりしていないと、人口を増やしたり、観光地として多くの人に訪れてもらったり、企業を誘致することが出来ないと思う。	3060103
--	---------

県東部地域はどのような
地域であって欲しいでしょ
うか？

原勉 1
資料 4-2
(議論のための材料)

2. 広域レベル (テーマ①)

(1) 地域を取り巻く状況について

- (地域経済) 人口減少、特に生産年齢人口の減少、少子高齢化が一段と進行する中、地域経済は徐々に悪化しつつある。今後、何の対策も打たなければ、地域経済がさらに疲弊する可能性も考えられる。
- (基盤施設) 新東名高速道路、中部横断自動車道、東駿河湾環状道路等の道路基盤整備が進行しており、また、富士山静岡空港やリニア中央新幹線駅との結節性も高まることから、首都圏、中部圏、甲信地方のみならず、国内外地域との広域的アクセスが大きく高まると考えられる。
- (災害リスク対策) 東日本大震災後、東海地震の災害リスクに対する意識が高まっている。特に、県東部地域の沿岸部においては、津波被害に対する対応を地域づくりを前提に置くことが求められている。
- (広域的拠点) 県としても、県東部地域は「日本のシンボル富士山を世界との交流舞台とした健康交流都市圏」として、コンベンション等の高次都市機能の集積を図ることで圏域の求心力を高めることとしている。

県東部地域はどのような
地域であって欲しいでし
ょうか？

原勉 1
資料 4-2
(議論のための材料)

(2) 地域づくりの目標に関する整理

1. 広域的な中心に (拠点)

1-1 広域的な拠点地域に

- ・ 県東部の拠点として県東部地域に人口や産業が集積している
- ・ 広域的な拠点地域であることで多様な雇用機会がある
- ・ 都市的な利便性や医療などのサービスを十分に享受できる

■三島市等と連携して、東部の拠点都市として都市整備してほしい。	1010202
■沼津市は三島市や富士市に遅れを取っている。東部の拠点として開発を進めてほしい。	1010201
■県は東部地域にもっと力を入れて取り組んでもらいたい。	1010501
■企業を誘致し、雇用を促進したい。	1020401
■企業を誘致し雇用を促進するなど、人口を増加させることが必要ではないか。	1020501
■周辺市町の都市整備が進み、沼津市は東部の拠点ではなくなってしまったのではないか。	1010204
■若者が集まり働ける場所があるまちにしてほしい。	1010104
■若い世代が少なくなった。商業施設や大学誘致、雇用の場を創出するなど、若者が集まり、暮らしやすいまちづくりが必要ではないか。	1020503
■駅周辺に都市機能を集積させて利便性の高いまちにしてほしい。	1010301

1-2 地域でうまく連携して

- ・ 県東部地域の都市が連携しながら、相互に必要な機能や役割を補完できる
- ・ 東部地域全体としての個性を引き立てながら、東部地域全体が広域的な拠点として持続的に発展できるようになる

■三島市等と連携して、東部の拠点都市として都市整備してほしい。	1010202
■三島市や県東部地域との連携が必要ではないか。	1020201

県東部地域はどのような
地域であって欲しいでし
ょうか？

原 勉 1
資料 4-2
(議論のための材料)

2. 交流拠点として賑わう (交流)

2-1 交通の要衝として

- ・伊豆箱根地域との分岐合流点として、また、交通の要衝としての特徴を活かす
- ・今後、首都圏、中部圏、甲信地方のみならず、国内外地域との広域的な結節性が高まり、富士山、箱根、伊豆地域などへの周遊観光の拠点（ハブ）として賑わう

■新東名高速道路サービスエリアなどを活かして活性化につなげてはどうか。

1020104

2-2 モノの交流拠点として

- ・モノの流動においても、首都圏、中京圏のみならず、伊豆、岳南、甲信地方など、多方面に対しての拠点性が活かされる
- ・拠点性を求めて多くの企業が立地し、税収や雇用、賑わいが生み出される

■通運事業者にとっては、貨物駅移転はコストアップになるが、廃止または他地区移転の場合は、営業ができなくなる恐れもある。	1050407
■物流機能を沼津に集約すれば、物流の効率化や環境に良い影響があると思う。	1040101
■貨物輸送は、長距離輸送のコストが安く、CO2 排出量もトラックの 1/6 程度で済むため環境にやさしい。	1050402
■物流機能を沼津に集約すれば、物流の効率化や環境に良い影響があると思う。	1040101
■貨物の取扱量が減っているのだから、貨物駅の規模を縮小すれば良いのではないか。	1050410
■荷物の取扱量が減っている状況下で新たな貨物駅が必要だとも、海が近い原地区が適切な立地だとも思えない。	3070105
■駿河湾沼津サービスエリアにスマートインターを設置し、新貨物駅とつながれば、物流の拠点ができ、企業の誘致が期待できる。	1050403

2-3 災害時の代替機能や復旧・復興の拠点として

- ・多方面にアクセス軸を持つことを活かし、今後予想される首都圏や東海・東南海地域での大規模地震においても、救援物資・復旧物資のライフラインを提供できる
- ・復興過程においても、代替的にサプライチェーンを提供できる

■物流機能を沼津に集約すれば、物流の効率化や環境に良い影響があると思う。	1040101
■駅周辺総合整備事業に、新しい必要性として高まってきた防災対策の視点を盛り込んでほしい。	2050101
■地震や津波対策の予算を強化し、津波被害を想定した都市整備や市街地開発を進めてほしい。	2050104

県東部地域はどのような地域であって欲しいでしょうか？

3.何もせずに過ごすのは問題 (戦略)

3-1 早く結論を

- ・地域の抜本的な都市整備についていつまでも結論が出ない状態が続くと、民間投資が逃げ地域経済が衰退を招きかねない
- ・どのような対策を行うのか、早く結論を出して先に進める

■高架事業が進まないために、まちへの投資が滞ってしまっており、それが開発の遅れやまちの老朽化というマイナスを生んでしまっていると思う。	2070205
■財政状況が厳しくなるまえに、何らかの対策を打ってほしい。	1060107
■高架化するにせよしないにせよ、早く意思決定してほしい。	1050501
■高架化するかしらないかの結論を早く出してほしい。	2070101
■事業に協力し、苦勞して移転した人の気持ちを考えて、早く実現に向けて動いてほしい。	2070206
■多数の意見を反映させて行政に早く決断してほしい。	3070402
■貨物駅を移転するかしらないかの決定までに時間がかかりすぎている。	3080101
■原地区の地域づくりでは、計画されてもなかなか進まないものが多く、時間がかかりすぎている。	3080201

3-2 すぐに効果が現れる対策を

- ・商業活性化や交通面の対策など、手遅れになってしまわないよう、早急に結果が現れる対策を取って、いち早く衰退の流れを止める

■まちの衰退に歯止めをかけ、渋滞を解消するために、早く事業を進めてもらいたい。	1050502
■事業の完了までに30年もかかると効果が実感できない。事業期間中でも効果が発揮できるようにしてほしい。	1050601
■構想段階から現在まで時間がかかりすぎており、高架事業が進まないために都市計画が進まない状況になっている。時間をかけずに進めてほしい。	2070201
■高架化事業は完成まで30年もかかるのでは、効果が実感できず、関心が薄れる。	2070202
■商業活性化や交通便利性などを考えると、高架事業の着工や完成を待ってられない。仮設でも良いので橋上駅や南北自由通路などの整備を進めてほしい。	2070203
■高架事業は時間がかかりすぎる。事業の縮小や橋上駅整備等の等の方法に変更して早く対策をとってほしい。	2060305
■高架化ではなく南北自由通路を整備する方が良い。一刻も早くつくって南北の行き来ができる様にしてほしい。	2060306
■高架化は進める必要があると思うが、完成までに時間がかかりすぎるので、完成前であっても南北通路等の対策を進めてほしい。	2060307
■中心市街地活性化策が講じられるまで商店街が耐えられるのか心配だ。	2040113
■日に日に衰退しているまちの状況を考えると、完成までに時間のかかる高架化よりも、もっと早くできる事業を進めた方が良くと思う。	2070207

県東部地域はどのような地域であって欲しいでしょうか？

原 勉 1
資料 4-2
(議論のための材料)

3-3 長期的視点から抜本的な対策を

- ・ その場限りの対症療法的な対策に終始するのではなく、時間がかかっても長期的な視点からの抜本的な地域づくりに腰を据えて取り組む

■土地区画整理事業は現状では中途半端だ。事業を進めてほしい。	2060402
■高架事業は、長期的な視点に立てば、費用対効果が高く、無駄な投資ではない。	2060310

3-4 効果的で戦略的な投資を

- ・ やみくもに単発的な対策を打つのではなく、長期的で総合的なビジョンのもと、戦略的な地域づくりを進める
- ・ インフラの整備に伴う波及的な効果をうまく活かして、公共や民間の投資が無駄なく効果的に行える

■高架下の空間利用をどう地域活性化にむすびつけるかなどの議論も事業と同時進行で進めてほしい。	2060702
■ハード事業を行っただけでは活性化しない。合わせてソフト施策が必要だと思う。	1010401
■沼津市は長期的なビジョンをもってまちを考えてほしい。	2010201
■沼津市は将来的なまちづくりや財政の長期的・短期的ビジョンを持ち、それを示してほしい。	1010101
■沼津市は将来を見据えた原地区のランドデザインを示してほしい。	3010201
■財政状況が厳しい中であっても、鉄道高架事業は先行投資だと考えて実施してほしい。	1060106
■高架事業を行い、インフラを整備すれば沼津市が活性化するわけではないと思う。	2060103
■総合整備事業を計画した時と今ではまちの状況が変化しニーズも変わってきているので、改めて戦略を考える必要があるのではないか。	2060104
■新東名高速道路サービスエリアなどを活かして活性化につなげてはどうか。	1020104
■南北が分断されたままでは、コンベンション施設の十分なまちへの波及効果が期待できないのではないか。	2040303

3-5 市民と民間と行政が協力して

- ・ 行政が責任を持って意思決定する
- ・ 市民や民間とうまく協力し合って地域づくりを進めていく

■最終的には行政が責任を持って判断を下して欲しい	4010703
■県と市が足並みを揃え、もっと連携してPI や事業に取り組んでもらいたい。	4010802
■市民がまちづくりに関心をもって、県、市と一緒にになって取り組むべきではないか。	1010503
■東部の拠点都市として活性化するには、行政と企業や市民が連携する必要があると思う。	1010504
■商業の活性化のためには、個々の店舗のやる気と努力はもちろん、全体をコーディネートする組織やしぐみを作って、商店街が一体となって動くことが大切ではないか。	2040112
■住民、行政、事業者などの様々な関係者が一緒になって駅周辺の活性化について話し合う場と、それを取りまとめ、まちのランドデザインを描ける専門家が必要ではないか。	2060703
■原地区の方向性を住民が一体となって考え、地域の声を行政に伝えていく必要があると思う。	3010208

県東部地域はどのような地域であって欲しいでしょうか？

4.税金は効果的に使ってほしい (財政と事業効果)

4-1 沼津市財政に無理がないように

- ・今後の地域づくりが沼津市の財政に大きな負担となり、他の政策に財源が回らなくなるなどの無理が生じない

■高架化するよりも地震・津波対策に予算を使ってほしい。	1030202
■事業費が大きく、沼津市の負担が多すぎないか不安である。事業費、費用負担、補助金の仕組みなど、正確な情報を示してほしい。	1050201
■高架化することで市の財政状況が悪化しないか心配だ。	1060101
■高架以外の事業が進まなくなることが心配だ。地震対策や福祉政策を重視してほしい。	1060102
■貨物駅の計画規模が大きすぎて今の社会経済状況や需要に則さないのではないか。	3070301
■事業を進めることによって、今後、市民の税負担が増えないか心配だ。	1060103

4-2 大きな費用に見合った対策を

- ・地域づくりのための大きな投資は、その波及的效果も含めた便益が総体的にどのくらい広がりをもち、費用負担に見合うだけの投資なのかを十分に吟味する
- ・その説明についてもきちんと納得できる

■高架化は事業費をかけてでもやるだけの価値がある。	1050202
■高架事業は、長期的な視点に立てば、費用対効果が高く、無駄な投資ではない。	2060310
■公表されている費用対効果 (B/C) の結果は本当か。市の活性化に結び付くような、費用に見合った効果があるのか疑問である。	1050301
■高架化したからといってまちが活性化されるわけではない。より少ない事業費で大きな効果をあげる方法を考えてほしい。	1050303
■社会資本整備が進み、経済効果も期待できることを考えれば、高架にかかる投資はむだにはならない。	1050304
■高架事業は、鉄道利用が減少しているなか、費用に見合うだけの効果が得られないと思う。見直しが必要ではないか。	2060312
■高架事業は、予算に見合う効果を得られる事業でなくてはならない。	2060311
■事業を途中で止めた場合、これまでの投資が無駄になってしまうのは困る。	1060104
■費用に合った効果があるのか検証し、議論してもらいたい。	1050302
■事業概要や事業メリットについて分かりやすい説明や PR が必要だ。	2060301
■高架事業の目的と意義、必要性、効果などについて納得できる説明がされていない。それらをきちんと示してほしい。	2060302
■計画当初から大きく社会情勢が変化しており、鉄道高架事業の必要性はないのではないか。	2060309
■高架事業に対する知識や関心もあまりないので、事業の是非を考えるのが難しい。	2060313
■駅北の再開発事業がどのような事業なのか分からない。PR が不足している。	2060502

どのような進め方で
あればよいでしょうか？

3. 進め方に関する課題の整理

1. PIの目的を明確に (PIの目的)

- ・ 何のための PI なのかを明確に
- ・ これまで積み重ねてきた経緯を尊重して

■ P I は計画段階で行うものではないのか。既に事業が進んでいる中で P I を行う必要があるのか疑問である。P I をやる目的がわからない。	4010101
■ P I で掲げている結論がイメージできない。	4010102
■ 鉄道高架をすることを前提として P I を進めるのであれば、P I を行う意味がない。P I プロジェクトは高架ありきで進めてほしくない。	4010502
■ 事業が実施されているなかで、勉強会で議論をする必要があるかわからない。	4020403
■ 勉強会が高架ありきで話し合う、ガス抜きのための場だとしたら出る意味がない。	4020405
■ 勉強会で何を議論するのか、勉強会の位置付けがわからない。	4020407
■ 民意はまとまっているので、いまさら透明性を言う必要があるのか疑問だ。	4010201
■ P I はこれまで積み重ねてきた議論を尊重しておらず、おかしいのではないか。	4010501
■ 鉄道及び貨物関連事業者としては、県が策定した事業計画に同意している。計画の変更がある場合には、改めて協議されるものと認識している。	4010003
■ 議会での議論や都市計画決定など、これまでの経緯があるので、事業を進めてほしい。	1050503

2. 解決に向けて (対話の効果)

- ・ 様々な立場の人の意見を聞いたり、集まって話し合うことは有意義だ
- ・ 地域を二分してしまうことが心配

■ 車座談議で問題点を語り合うことができ良かった。できれば、様々な立場の人の意見を聞きたい。	4020304
■ 車座談議で問題点を語り合うことができ良かった。できれば、様々な立場の人の意見を聞きたい。	4020304
■ 小さな意見でも取り上げられる意見交換しやすい方法だ	4020305
■ 地域の声や状況を把握してもらおう場として、車座談議で立場を気にせず腹を割って話したい。	4020301
■ 勉強会は、様々な立場の人が、議論する場であり、合意形成を図る上で有効であると思われるので、是非開催していただきたい。	4020401
■ 問題意識の共有や将来のまちづくりについての議論を行い、意見を集約するためには勉強会を開催することが重要だと思う。	4020404
■ 勉強会には個人と組織の代表と、どちらの立場で参加すれば良いのか迷う。組織の代表という立場で話すのではなく、個人として話す場にする方が良いのではないか。	4020408
■ 立場の異なる人々が一堂に会して落とし所を見つける必要がある	4010302
■ どうやって合意形成を図っていくのかわからない。	4010301
■ 勉強会で議論しても意見の対立はなくなる。それどころか更に対立を深めるだけではないか。	4020406
■ 貨物駅移転に対する考えはいろいろある。	3070101
■ 全員の意見が一致することはありえない。P I をやって更にまた時間をかけず、多数決などの方法で決定して進めてほしい。	4010701
■ 賛否で住民の対立を生む貨物駅移転は、他の移転先を探すなど、計画を見直してほしい。	1050405

どのような進め方で
あればよいでしょうか？

■地域に対立の種をもたらす様な計画は望まない。	3070401
■高架化についての市民の合意形成を図るのは難しいのではないかと思います。	2070102

3. 公正で着実な議論を (検討プロセス)

- ・議論の前提やポイントを明確に
- ・どんな地域にしたいかから議論を
- ・議論が長引くことが心配
- ・透明・公正に進めて
- ・事業の目的やねらいを分かりやすく正確に情報提供を

■ P I の中で「目標設定」する以前に、そもそも鉄道高架、周辺区画整理事業の目的が示されていない。	4010401
■ ステップ3にある貨物駅の移転は広域テーマではなく原地区のテーマではないか。	4010402
■ 車座談議は、議論のポイントを示して意見を求めるべきではないか。	4020302
■ 貨物駅移転と鉄道高架化は別の問題として分けて考えた方が良い。	1050406
■ 社会情勢や財政状況が変化している。今実施すべきが見直してほしい。	1050504
■ 高架化すればまちが活性化するわけではないと思う。何を目指し、なぜその事業が必要なのかを明確にする必要がある。	2010202
■ 時代の変化を捉えてどういうまちづくりにしたいか目的を明確にするところから議論したい。	4010403
■ ゼロベースからまちづくり全体について考えることが必要ではないか。	4010503
■ 沼津の活性化にとって本当に必要なことを考えてほしい。	2060101
■ この問題についてまちづくりから考えることは重要だ。市民の意見を反映させ、沼津高架 P I プロジェクトが失敗しないようにがんばってもらいたい。	4010002
■ ステップ2が遅れているが、プロセスをきちんと踏んで進めてもらいたい。	4010404
■ 既に次の事業ステップに進む時期になっていると思う。いろいろな意見に振り回されて、現状で設定している意思決定の時期をずれ込ませるようなことはしないでほしい。	4010601
■ 進捗状況が住民に分かるように進めるべきだ	4010202
■ 検討プロセスの透明性・公平性を保ってほしい	4010203
■ 出された意見は発言者の趣旨に沿った形で取り扱ってほしい。	4020202
■ 車座談議や勉強会などで出された発言は、発言者の確認を取った上で正確に記録を残しておいてほしい。	4020203
■ 車座談議は公開で行った方が良いのではないか。	4020303
■ 合同勉強会はホール等の大きな会場で、公開で実施してほしい。	4020402
■ 勉強会での質問には出来るだけ対応し、検討内容は県が責任を持って公開してほしい。	4020409
■ 事業費が大きく、沼津市の負担が多すぎないか不安である。事業費、費用負担、補助金の仕組みなど、正確な情報を示してほしい。	1050201
■ 事業概要や事業メリットについて分かりやすい説明や PR が必要だ。	2060301
■ 高架事業の目的と意義、必要性、効果などについて納得できる説明がされていない。それらをきちんと示してほしい。	2060302
■ 高架事業に対する知識や関心もあまりないので、事業の是非を考えるのが難しい。	2060313
■ 駅北の再開発事業がどのような事業なのか分からない。PR が不足している。	2060502
■ 総合整備事業の目的やメリットが示されていない。事業の目的を明確にして説明してほしい。	1050102
■ 貨物駅の必要性を明確に示してほしい。	1050401
■ 高架事業の目的やメリット、進捗状況をもっと市民に説明してほしい。	4020101
■ P I の取り組みの PR が不足している。	4020102

どのような進め方で
あればよいでしょうか？

■ 現況で答えられる質問は保留せず、すぐに準備して回答してほしい。	4020103
■ パブリックコメントへの評価が全くされていないのは何故か。	4020104
■ 市民から得た意見は冊子などにして公開してほしい。	4020105
■ 冊子などで意見を公表する際には、誤った先入観を与えるようなまとめ方はしないでほしい。	4020106
■ P I の記録は全て公開しなくてもよいのではないか。	4020107
■ 情報を増やす、オープンハウスのパネルに図や写真を多くするなどの工夫をして、分かりやすい情報提供をしてほしい。	4020108
■ オープンハウスの様に事業の情報をわかりやすく知らせ、意見を集めることは良いことだ。	4020109
■ 模型やパネルなどによる情報提供はわかりやすく、計画をイメージするのに役立つ。	4020110
■ 勉強会での質問には出来るだけ対応し、検討内容は県が責任を持って公開してほしい。	4020409
■ 計画当初から大きく社会情勢が変化しており、鉄道高架事業の必要性はないのではないか。	2060309
■ 県内の他都市での高架事業の期間や事業費との比較をして、もっと分かりやすく説明してほしい。	1050602
■ 行政からの情報提供により自分の意見の視野が広がった	4020306
■ ニュースレターをもっと多く出してほしい	4020701

4. 幅広く意見を聴いて (検討体制)

- ・ PI 委員会は、活発な議論を通じて PI の進め方を監視して
- ・ ファシリテーターには、公正で中立的な立場から多くの人の意見を吸い上げてほしい
- ・ 幅広い市民や企業からの意見を聴いて

■ 健康文化タウン構想等の市民の提案やこれまで述べてきた考えを、P I 委員にしっかり伝えてほしい。	4020501
■ 委員会で何を到達点として議論しているのかが見えづらく、前向きな議論がなされていない印象を受けた。	4020502
■ 委員会は沼津市で、傍聴者も参加しやすい日程で開催してほしい。	4020503
■ P I 委員会とは、P I プロジェクトのすすめ方を議論する場ということが理解できた。	4020504
■ ファシリテーターは公正に選んでほしい。	4020601
■ ファシリテーターは、多くの人から意見を吸い上げていて良かった。	4020602
■ ファシリテーターは議論を中立的な立場で進めてほしい	4020603
■ 多くの一般市民の声を吸い上げるために、住民投票を行って決定するのが良い。	4010702
■ 有識者ではなく、地元詳しい人、地域の人を入れて検討してほしい。	4010801
■ 鉄道事業者にも P I に参加してもらおうほうが良いのではないか。	4010003
■ P I のように多くの意見を聞いて進めていくことは、市民の考えを伝えることができ、今まで知らなかった人も興味を持つので良いことだと思う。	4010001
■ 多くの人の意見を聞き総合的に判断してほしい。	4020201
■ 大学の先生や専門家などにも意見を聞いてほしい。	4020204
■ 主婦や若い世代を中心に幅広い年代の意見を聞いてほしい。	4020205
■ 「公開討論会」の開催を是非検討してほしい。	4020001